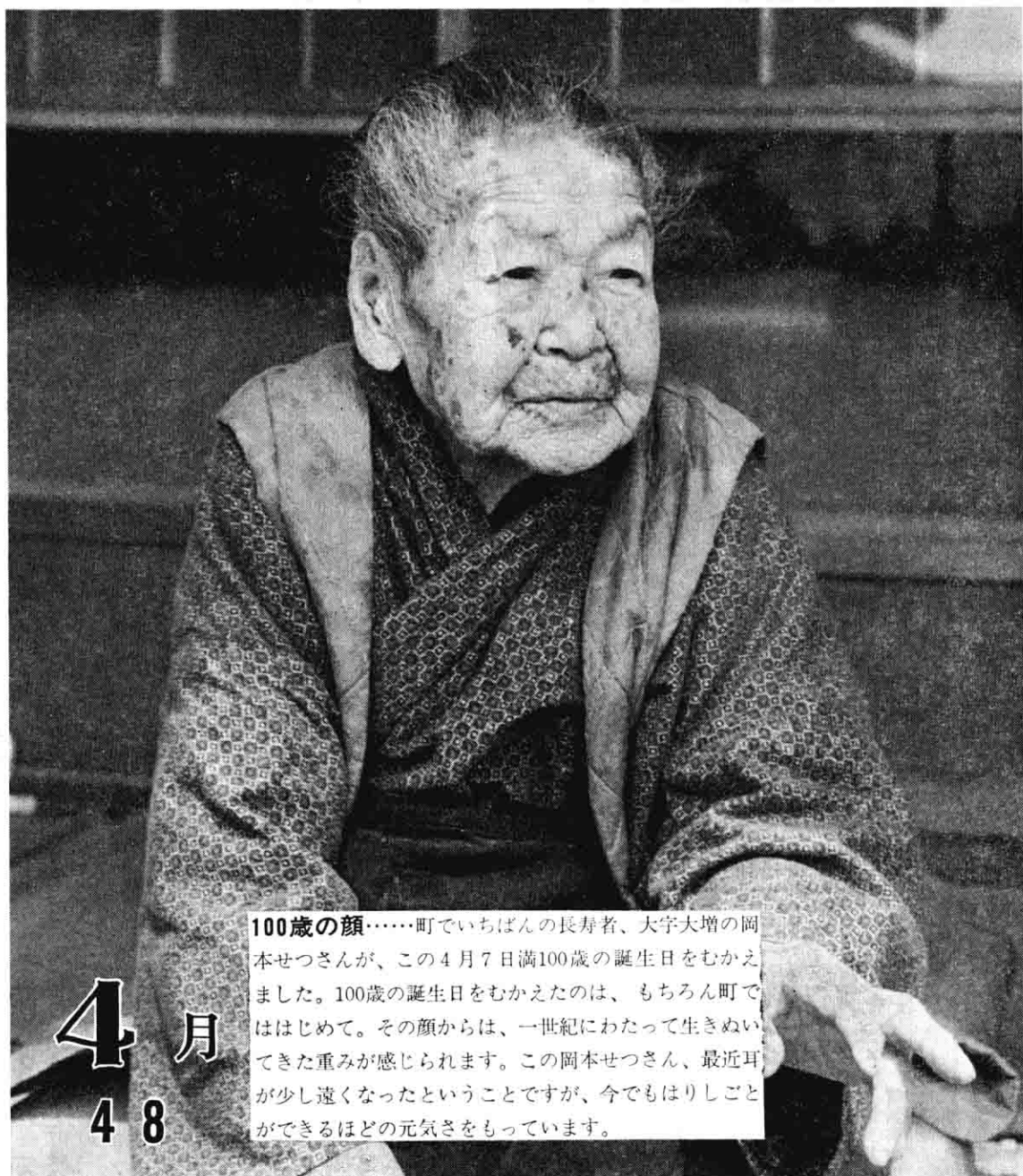


八郷伝報

町の人

	4月1日現在	前月比
男	13,656	▲ 57
女	13,991	▲ 107
計	27,647	▲ 164
世帯数	5,774	△ 7



4月
48

100歳の顔……町でいちばんの長寿者、大宇大增の岡本せつさんが、この4月7日満100歳の誕生日をむかえました。100歳の誕生日をむかえたのは、もちろん町でははじめて。その顔からは、一世紀にわたって生きぬいてきた重みを感じられます。この岡本せつさん、最近耳が少し遠くなったということですが、今でもはりしごとができるほどの元気さをもっています。

新年度予算20億6千万円

一般会計 15・6パーセント増



特別会計は4億2千万円

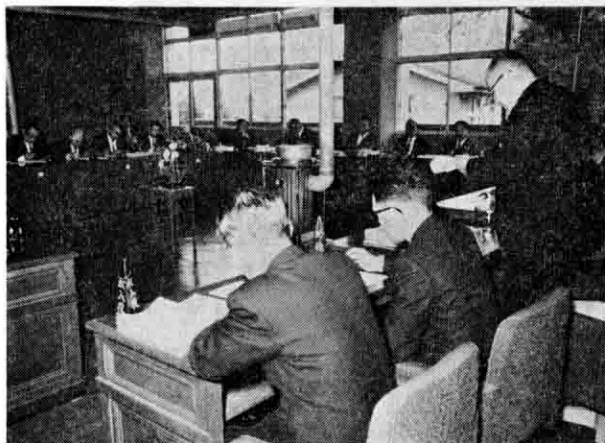
有線放送は

6月いっぱい
で廃止決まる

とし第一回目の定例議会が三月十二日から三月二十四日までの一三日間の日程で開かれ、昭和四十八年度の一般会計予算と五つの特別会計予算が決まりました。この定例議会では、新年度予算のほか、三つの専決処分（報告と有線放送電話事業の廃止についての議案を含む二六の議案が上程されましたが、一

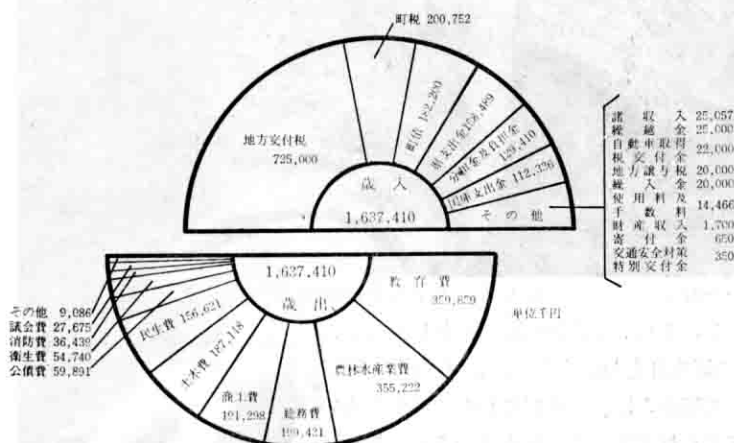
部（八郷町土地開発公社に関する議案については継続審議）を除き、原案どおり可決成立しました。このほか、陳情・請願など一一件の審査も行なわれ、一一件とも採択されました。

昭和四十八年度の一般会計予算は、歳入、歳出それぞれ十六億三千七百四十一万円、五つの特別会計予算の総額が、四億二



定例議会で予算説明をする町長

円グラフで見る一般会計予算



可決されたおもな議案

特別職の給与及び旅費に
関する条例、町議会議員
の報酬及び費用弁償等に
関する条例の一部を改正

千九百七十七万三千円の合わせて二十億六千七百十八万三千円で、前年度より二億九千五百四十三万八千円の増額になりました。

郡の特別職報酬等審議会の答申にもとづき、町長をのぞく常勤特別職の給与と町議会議員の報酬を改定するもので、議会の議決を得て決定しました。

●特別職の給与

◎特別職の給与

○町長二四万八千円（据え置
き） ○助役一八万九千円

き) ○助役一八万九千円

○収入役一七万五千円 ○教
育長一五万九千円

育長一五万九千円

◎町議會議員の報酬

○議長六万八千円 ○副議長
五万五千円 ○議員五万円

五万五千元 ○議員五万円

五万五千元 ○議員五万円

八郷町医療福祉
費に関する条例
を制定

乳児、重度心身障害者、寝たきり老人等及び七〇歳以上の老人の医療費の一部を助成するためのもので、議会の承認を得ました。

八郷町有線放送
電話事業を廃止

八郷町有線放送
電話事業を六月三
十日をもって廃止
するもので、議会
の議決を得て決定
しました。

特別会計予算

国保会計	共済会計	水道会計	有放会計	菊地四郎顕彰、社会福祉基金
2億7、905万5千円	7、241万2千円	6、499万7千円	1、231万7千円	99万2千円

町長の予算説明

最近の著しい経済状況の進展にとともに、生活の高度化、多様化が進み、もろもろのヒズミが指摘されています。各種の公害、交通事故、土地問題などの社会的課題をもたらし、特に農業分野については、本質的な解決を迫られている困難な局面に直面しています。

これらの幾多の諸問題については、国においてもいろいろな対策が講じられています。町でも積極的なこれと取り組み、解決するための施策を推進することが、町に課せられた最大の責務であると信じます。

新年度施策の構想

第二点として、農林業の振興ですが、農業は経済の高度成長

新年度の施策は、諸般の情勢から継続事業関係の推進に意を用い、新しい事業は原則として見合わせざるを得ない状況になりました。

まず第一に教育関係施設の充実ですが、継続事業である柿岡統合小学校の竣工に全力を傾注するとともに懸案である教育環境の整備、各器材の充実を図り人間形成の場を確立してまいります。

社会教育の振興については、地域社会における生活文化の向上の拠点である公民館活動の活発化をはかり、関係諸団体、指導者の育成、各種学級講座の体制を固め、新しい町づくりをはかっています。

にとともに、かなりきびしい情勢に直面しています。農業の安定的基礎を確立するためには、関係機関並びに農家のみなさんの自覚に基づく農業の体質改善が急務であると思います。

基盤整備の推進

従来から進めてきましたほ場農道等の基盤整備事業をすめ農業経営の合理化、近代化をすすめていきます。

ほ場整備事業は、継続事業の小幡地区の第二次構造改善事業による、ほ場整備事業にともなう護岸工事並びに近代化施設事業として、壮蚕の共同飼育所、水稻の育苗施設等を設置します。一般土地改良事業は、小幡、柿岡、江垂地区の継続事業約一〇〇ヘクタール。新規としては小幡の朝日地区、片野、園部の東成井地区の約一〇〇ヘクタールのほ場整備を実施します。

重要農道の整備

農道整備事業として、二年目に入る柿岡団体営農道整備事業の残り約一、六〇〇メートルを新設して、大型農道に接続します。四十七年度にすでに完成した同農道の舗装は、社会福祉センターまで実施するとともに、小幡、小幡地区の重要農道の舗装を実施し、農産物の流通

合理化を図る計画です。農業生産は農業者並びに関係機関のご協力と地域的な優位性から順調な伸びをみています。

施設園芸

畜産団地の集団化

農家収入の安定と経営基盤の確立を図るため、地域の特性を生かした農業の団地化が必要です。果樹、特産園芸、畜産等の生産組織の整備強化と生産団地の育成を強力に推進し、生産性の高い農業経営の実現に取り組んでいきたいと考えます。

これらの諸目的達成のため、山麓地帯には昨年に引きつづき柿、すもも。平坦地帯は梨、ぶどう等の増植。畑作地帯はそ菜園芸の振興、施設園芸の集団化を図っていきます。

畜産の農業所得に占める割合は第一位にランクされ、今後も需要に応じて、さらに伸びる部

工事すむ「柿岡団体営農道」



門であると思われますので、肉豚の改良を図るため優良種豚の貸付、育成牛の委託等を進めていきます。

これらの振興のかけには、かならずし尿公害をもたらします。この対策として未然に防止するよう施設の設置改良に努力し、適地を求め畜産団地の造成もあわせ検討していききたいと思ひます。

林業構造改善四力年計画

木材の需要は経済の進展にとともに急激に増大傾向を示し、これに対し供給面は基盤の未整備、労働力の不足などから、林業生産は依然停滞している現状です。このようなことから、林業の発展と豊富な資源を利用するため、第二次林業構造改善事業の指定を受け、本年度から四力年の継続事業で実施します。第三点として道路の整備ですが、本年度は主要町道整備五カ年計画の最終年次にあたりますので、改良舗装の促進と柿岡、吉生まわり小幡、細内路線延長四、〇〇〇メートルは、きわめて危険度の高い路線ですので、国補事業の認定を促し三カ年の実施計画を樹立し、本年測量、用地買収を進めていきます。

本河川改修

にもない橋梁整備

(次頁につづく)

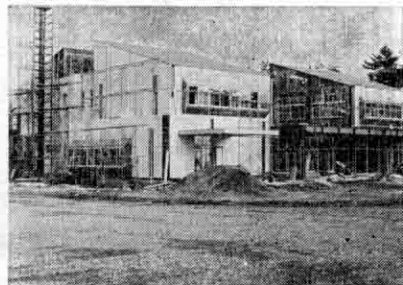
橋梁整備については、四十七年度完成の「光安寺橋」をもって、いちは重要橋梁整備は完了しましたが、恋瀬川に二つの架橋が残りますので、本河川の改修の促進を強力に県に要請し整備完成を期したいと思えます。また、県道整備事業は急速に進み、ほぼ七五パーセントに達し、残る整備については鋭意促進を図り、早期完遂に努力を傾注してまいります。

福祉の充実

第四点として福祉施策の充実です。成長優先から福祉優先が叫ばれている現在、充実した施策を講ぜねばなりません。

七〇才以上の老人、ねたきり老人、乳幼児重度心身障害者の医療の無料化をはじめ、八〇才以上の高齢者、重度心身障害者に対しては、敬老祝金等の増額をはかり、特にねたきり老人、一人暮らしの老人のため家庭奉仕員の増員、特殊寝台及び愛のプザーを増加して、不自由な生活を補い、さらにねたきりの方には年令を区別することなく福祉の道をすすめます。

また、児童福祉についても、児童手当の支給範囲の拡大をはじめ、身体障害児にも福祉の手を差し伸べるとともに、一般住民の健康検診、予防対策にもいっそうの努力をしてまいります。第五点として住民の生活環境



完成まじかの自然休養村センター

安全対策について申し上げます。生活環境は排出物の流出等により迫害されつつあり、地下水河川の汚染、ゴミの不法投棄など、憂慮すべき事態になっています。このようなところから、昨年から実施しているじんあい収集の業務をより進め、環境美化に努めるとともに、広域圏で進めている消却場の早期建設を促進していきたいと思えます。

大増、湯袋地区に簡易水道

町民のみなさんの健康を守るため、本年度新たに大増、湯袋地区に簡易水道を計画しました。水道の役割は、時代とともに重要性を増してきました。事業も年々拡張され、将来は全町布設の構想の下に計画を樹立し、みなさんの要望にこたえていき

たいと思えます。

生命、財産を守るための消防の整備については、消防整備三カ年計画の最終年度にあたりますので、機動力を強化するため消防自動車ポンプ二台、可搬式動力ポンプ三台を新たに購入し、貯水槽二四基を増設することになりました。交通安全対策としては、交通量の増加、事故件数の増加にともない安全施設の設定、各小中学校には交通トレーニングコースの設置など、交通安全の指導とともに、負傷者の救済にも万全を期していきたいと考えます。

国民宿舎と合わせ 強力に観光開発

国民宿舎の建設は本年度完成をみる訳ですが、この完成にともない観光関係は今後ますます有望な発展を信じます。また、峰寺山西光院の本堂修復にともなう関連施設についても、強力に推進をはかっていきます。

自然休養村整備関係は、本年度は第二年度事業として細内、香取地区七・五ヘクタールの基盤整備並びに農道整備を実施します。

以上が新年度の施策について、その大要でございますがみなさんのご助言とご協力を願います。

一般会計予算

一六億、三七四一万円

歳入

町税

二億七五万円

地方譲与税

二、〇〇〇万円

自動車取得税交付金

二、二〇〇万円

地方交付税

七億二、五〇〇万円

交通安全対策特別交付金

三五万円

分担金及負担金

一億二、九四一万円

使用料及手数料

一、四四六万円

国庫支出金

一億一、二三三万円

県支出金

一億五、八四八万円

財産収入

一七〇万円

寄付金

六五万円

繰入金

二、〇〇〇万円

繰越金

二、五〇〇万円

歳出

諸収入

二、五〇五万円

町債

一億八、二二〇万円

議会費

二、七六七万円

議員報酬、職員給料など。

総務費

一億九、九四三万円

総務費は前年度より一、四四二万七千円減の一億九、九四三万一千円。

▽総務管理費一億四、六九三万六千円。区長報酬、職員給料。社会教育センター、総合ゴミ処理施設など広域行政事業負担金。その他広報発行費、交通安全対策費など。

▽徴税費三、〇七四万四千円。▽戸籍住民基本台帳費一、五六六万一千円。

▽選挙費一五五万円。ことし農業委員の選挙が行なわれるのでその費用。その他明正選挙推進費など。

(次頁につづく)

▽統計調査費四六四万二千円
農林統計調査費がおもなもの。

▽監査委員費二九万八千円。

民生費

一億五、六六二万円

民生費は六、三二二万二千円増の一億五、六六二万二千円。

▽社会福祉費六、四一六万九千円。職員給料、国民年金費、老人福祉費、医療福祉費など。

▽児童福祉費九、二四四万七千円。児童手当扶助費、保育所費など。

▽災害救助費五千円。

衛生費

五、四七四万円

前年度より一、六九七万二千円増の五、四七四万円。

▽保健衛生費四、五三四万四千円。職員給料、ワクチン代、その他各種検診料費など。

▽清掃費九三九万六千円。

農林水産業費

三億五、五二二万円

前年度より八、八八三万一千円増の三億五、五二二万二千円。

▽農業費三億一、二六九万七千円。農業振興費、農業構造改善事業費、園芸振興費

自然休養村整備費がおもなもの。この中には家畜し尿処理施設補助金、ほ場整備事業補助金、ビニールハウス設置補助金などが含まれています。

▽林業費四、二五二万五千円。しいたけ駒購入補助金、峰寺山林道、林道部原金谷線開設費、林道吉生、一の沢線の工事費など。

商工費

一億九、一二九万円

商工費は五、三二〇万七千円増の一億九、一二九万八千円。おもなものは職員給料、国民宿舎建設費及備品購入費、峰寺山観光道路工事費、難台ハイキングコース工事費。

土木費

一億八、七二四万円

土木費は五、五二八万八千円減の一億八、七二四万八千円。

▽土木管理費三、四二二万七千円。職員給料がおもなもの。

▽道路橋梁費一億五、二二二万一千円。道路維持費、道路新設改良費がおもなもので、町道改良及舗装工事費

広域営農団地農道整備事業負担金、県道舗装工事地元負担金など。

▽町営住宅費六九万円。

消防費

三、六四三万円

消防費は二六六万三千円減の三、六四三万九千円。団員報酬費及退職報償金、消防自動車ポンプ二台、小型動力ポンプ三台購入費、貯水槽新設工事費など。

教育費

三億五、九八五万円

教育費は九、二六六万七千円増の三億五、九八五万九千円。

▽教育総務費一、九九二万五千円。職員給料、各種負担金など。

▽小学校費一億七、一六六万八千円。柿岡小新築工事費、柿岡小旧校舎取りこわし工事費、職員給料など。

▽中学校費四、三二八万五千円。教材購入費、各種補助金、職員給料など。

▽社会教育費二、二二六万一千円。各種負担金、各種学級助成金など。

▽保健体育費一億二二二万八千円。学校給食原材料費、体育協会助成金及各種負担金などがおもなもの。

災害復旧費

二〇八万円

公債費 五、九八九万円

地方債元金償還金など。

予備費 七〇〇万円

特別会計予算

四億二、九七七万円

◎ 国保会計

二億七、九〇五万円

歳入

▽国民健康保険税 九、一三二万二千円

▽使用料及手数料 一万一千円

▽国庫支出金 一億六、六九二万四千円

▽県支出金 二八六万六千円

▽財産収入 一万九千円

▽繰入金 一千円

▽繰越金 二、〇〇〇万円

▽諸収入 五〇万二千円

歳出

▽総務費 二、〇七四万四千円

職員給料、納税奨励金、運営協議会費など。

▽保険給付費 二億四、八五七万七千円

療養給付費、助産費、葬祭費、育児手当費、老令者医療手当費など。

▽保健施設費 八六九万八千円

職員給料、保健衛生費、病氣予防費など。

▽基金積立金 一千円

▽公債費 一万円

▽諸支出金 二万五千円

▽予備費 一〇〇万円

◎ 共済会計

七、二四二万円

「農作物共済勘定」

二、八七二万円

○歳入……共済掛金及交付金、保険金など

○歳出……保険料、共済金など「蚕繭共済勘定」

四四〇万円

○歳入……共済掛金、保険金など

○歳出……保険金、共済金など「家畜共済勘定」

一、七六二万円

○歳入……共済掛金、保険金など

○歳出……保険料、共済金など「果樹共済勘定」

五七万円

○歳入……共済掛金

○歳出……保険料など「業務勘定」

二、一〇八万円

○歳入……賦課金、県支出金など

○歳出……総務費、事業費、連合会支出金

◎ 簡易水道会計

六、四九九万円

(次頁につづく)

有線放送業務

6月いっぱいまで廃止決まる
今後の広報活動を十分検討

有線放送電話業務が六月いっぱいまで廃止されることになりま

がすでに電話に加入しています。このため、有線放送電話を廃止する人がかなり多く出ており、すでに約半数の人が廃止している現状です。通話数の減少はもちろ

有線放送業務は昭和三十一年に農山漁村建設総合施設として

有線放送業務が廃止されると当然広報活動としての一つの機能を失うわけですが、今後はこれ

費用と……

歳入	
▽使用料及手数料	六〇六万七千円
▽分担金及負担金	四五四万五千円
▽国庫支出金	一、二七二万二千円
▽財産収入	五万
▽繰入金	一、二五〇万
▽繰越金	六六万
▽町債	二、五〇〇万
▽諸収入	一千
歳出	
▽総務費	六七四万
▽簡易水道事業費	五、五四四万五千円
大増、湯袋地区簡易水道工事費など。	
▽公債費	二七二万二千円
▽予備費	一〇万

◎有放会計
一、二三一万円

歳入	
▽使用料及手数料	二四六万
▽財産収入	一万
▽繰入金	八八三万五千円
▽繰越金	一〇〇万一千円
▽諸収入	一万一千円
歳出	
▽総務費	一、〇六四万五千円
職員給料、施設補修材料費及工事費など。	
▽公債費	一五七万二千円
▽予備費	一〇万

◎菊地四郎顕彰
社会福祉基金
九九万二千円

税の豆知識

贈与税の配偶者控除

夫婦の間で居住用不動産などの贈与が行なわれた場合次のいずれにもあてはまるときは基礎控除額のほかに配偶者控除として、三六〇万円までの金額が控除されます。つまり、基礎控除額十三六〇万円までは贈与税がかからないこととなります。

▼婚姻期間が二〇年以上の夫婦の間で行なわれる居住用不動産、または居住用不動産を取得するための金銭の贈与であること

▼贈与を受けたが、その贈与税の申告期限(翌年三月十五日)までに、贈与を受けた居住用不動産や贈与を受けた金銭で取得した居住用不動産に実際に居住する見込みであること

この配偶者控除は、一生に一度だけの特典であり、この控除を受けずと相続税の場合に最高四〇〇万円まで差し引かれる「遺産にかかる配偶者控除」は受けられなくなります。

この配偶者控除を受けるためには、贈与税の申告の際に戸籍謄本や居住用不動産を取得したことを証明する登記簿の謄本などを申告書に添付して提出することが必要です。

(土浦税務署)

季節の

・お・い・し

新茶がぼつぼつ出てき野菜や果物のほか魚類も豊富になりました。この季節になるといつも出てくる有名な旬目に青葉山ほととぎす

初がつお

山口素堂

というのがあります。字余りのようですが、それが気にならないほど季節の品々をならべてうたった見事なものです。ところで、このカツオは海の幸を代表する点で古い落語に出てくる「友房を質に置いて……」と、むかしから賞味されたもののようです。まさか奥さんを質にとるような店はありませんが、そこは落語。カツオのおいしさをヒュ

したおもしろさでしょうか。アサリのむき身の粒も大きくなって、今がたべごろです。以前は貝のまま売っていましたが、このごろは、むいてサ

ラ盛りになって魚屋さんの店に出ています。貝つきでは輸送費がかさむからでしょうか産地でむいて出荷されてくるのだそうです。そのための人件費のほうはどうなんでしょう。貝つきでの運賃とむく



山根4Hクラブ 町長と話し合う…………… 町長からよりよいクラブ づくりの助言など

山根4Hクラブ(池田桂一会長、会員14名)と町長の話し合いがこのほどもたれました。

山根4Hクラブから、ぜひ町長と話し合いをしたいという申し入れがあったため、町長の都合のついた4月7日実現したものです。

山根4Hクラブは、恋瀬、瓦会、園部、林、小桜の真剣に農業に取り組もうとする青年たちで、昨年7月に組織され、毎月二回定例会を開くなど活発な活動を行なっています。

この日は、クラブ方針などの報告があったあと農村青年としての今後の生き方などについて真剣な話し合いが行なわれました。なお、町長は、この話し合いでクラブに対する積極的な協力を約束しました。(写真、約三時間にわたったクラブと町長の話し合い)

充実する福祉 乳児、重度心身障害者 などの医療費無料に

先に実施された七〇才以上の高令者医療費無料化に続いて、四月一日から乳児、重度心身障害者、ねたきり老人等の医療費が無料になりました。

当分の間は、償還方式(医療機関の窓口へ一部負担金を支払い、後日その分を現金で給付する)で八郷町内に住所を有し、かつ国民健康保険の被保険者、またはその他医療保険各法の規定による被保険者(生活保護法の適用を受けている者を除く)が、この助成措置の対象者となります。

■対象者

- 1 乳児
一才未満の者(出生の日から一才の誕生日の属する前日までの者)
- 2 重度心身障害者
一才以上六五才未満の者(一才誕生日の属する月の初日から六五才の誕生日の属する月の前月末日までの者)で、次にあげる心身の障害を有する者
①身体障害者福祉法による身体障害手帳の交付を受け、その障害程度が同法施行規則に定める一級または三級までに該当する者
②児童福祉法による児童相談所または精神薄弱者更生相談所において、知能指数が三五以下と判定された者
③手帳の交付を受け、その障害程度が三級に該当し、かつ児童相談所または更生相談所において知能指数が五〇以下と判定された者
- 3 ねたきり老人等
六五才以上七〇才未満の者で、国民年金法別表に定める一級または三級までの障害の程度に該当する者
その他くわしいことは国保年金課でおたすください。

フットボール

成人者が植樹

つつじと桜二五〇本

このほど、ことし成人となった人たちの代表三〇名が記念植樹をしました。この記念植樹は、成人者たちが記念になるものを自らの手で残し、共に成長しようという気持ちをこめて行なったものです。つつじと桜合わせて二五〇本の苗木は、それぞれ丸山古墳と峰寺山観光道路沿いに、一本一本ていねいに植えられました。(写真、植樹する成人者)



「町に救急車」

応急業務が充実

町では救急業務の充実をはかるため、石岡消防署から譲り受けた救急車(写真)を配置しました。

交通事故などが生じ緊急を要する場合、これまでライオンズ号が代役を果たしてきましたが、救急車が配置されたことで、救急業務はいっそう充実しました。

交通事故などでケガ人が出たときなど、119番に電話があればすぐ出動します。

緑をわたしたちの手で……

小幡小に「緑を守る少年隊」

さっそく標板設置

「緑を守る少年隊」(隊長、関野信平)が、さる三月三十日結成されました。隊員は小幡小五、六年生生徒六〇名で、筑波山をはじめひろくは県全体に森林愛護の精神をひろめるために結成されたものです。

結成式は県林政課長、県南林務課長など多数の来賓をむかえ隊員全員が出席、三月三十日大字小幡湯袋の研修所前の広場で行なわれました。まず、助役か

標板を設置する少年隊



ら森林愛護の精神で事業を強力に推進して……と、あいさつがあり、このあとさっそく具体的な事業内容などが、隊員から力強くのべられました。

結成式終了後、隊員はさっそく町の職員の手導によって、付近の清掃をしたり、標板を立てたりしました。

森林愛護隊の今後の事業は、県緑化推進委員会の事業計画に合わせ、森林パトロールなどを行なっていくほか、野外学習活動、奉仕作業(果箱の設置、清掃)などをしていくことになっています。

小・中学校の異動

小学校

配置換

○広瀬豊(大増小学校)→芦穂小学校
○富田成徳(芦穂小学校)→小幡小学校
○北條得雄(小幡小学校)→園部中学校
○田上静子(芦穂小)→小幡小
○篠田タカ(吉生小)→芦穂小
○浜末男(小幡小)→芦穂小
○菱沼弘元(朝日小)

園部小

転入

○吉川時治(大増小学校)→村山惣一(吉生小学校)
○核井明(小幡小学校)→鈴木昭三(朝日小教頭)
○渡辺さき(林小)
○岡野美千恵(〃)
○鈴木仁(芦穂小)
○石毛正(小幡小)
○山内鉄夫(〃)

新採

○清水純子(園部小)
○栗原悦子(〃)
○佐藤和男(東成井小)
○長谷川由紀子(恋瀬小)
○山口忠夫(芦穂小)
○岡野すみこ(吉生小)
○市野沢雄次(柿岡小)
○町田和男(小幡小)
○松崎恭子(朝日小)

転出

○栗原義郎(小河原四郎小)
○貫簡(国谷徳松小)
○小林恵子(綿引志郎小)
○沼野定夫(〃)
○渡木貴高(高橋みどり小)
○久保田芳男(萩原清小)
○大部典子(岩田良雄小)
○長山文子(中沢仁平小)
○吉田仁(宮本和子小)
○田村正子

退職

○太田美枝子

中学校

配置換

○佐藤治子(有明中)→柿岡中
○戸下せん(柿岡中)→南中
○助川博(南中)→有明中
○藤岡英博(南中)→有明中
○菅谷幸男(園部中)→中原

馨(有明中)
○土田勝一(〃)
○稻葉操(柿岡中)
○橋本定助(〃)
○飛沢健治(南中)

新採

○林耕二(園部中)
○森千恵子(柿岡中)
○高森寿(〃)

退職

○石毛芳枝

父兄たちが協力

自転車安全運転指導

小幡小学校で実施する

小幡小学校(富田成徳校長)では、自転車による通学を禁止していますが、特にこの三月一日から約一カ月の間、六年生の自転車通学を認め安全な交通指導を行なっていました。

小幡の塚谷さん

保育所児童に

みかん園解放

大字小幡の塚谷一雄(四歳)は、小幡保育所の子どもたちに自宅のみかん園を解放、たいへんよろこばれました。また、このみかん狩には、太字須釜の中島繁(四歳)も協力。無料でバスを出してくれたため、子どもたちはちょっとした遠足気分を楽しみました。子どもたちは、この日一日みかん狩を楽しみ、帰りはみかん一袋のおみやげまでもらい、大よろこびでした。





今年の一月十五日町の成人式は約四〇〇名の該当する

若人達が柿岡中学校体育館に出席して、盛大にしかも感激深い式典が行なわれました。来賓の人たちも、この人達の将来の発展と多幸を祈念し祝福するために多数出席されました。

この運営については、今年の成人者の中から地区ごとに代表の実行委員のかたがたが選出され、この人達によって検討され計画されたものです。

実行委員になられた人達の骨折はたいへんだったと思います。外に出て

勤めている人も多い関係で、休日や夜間にも数多く会合をもち寒い時期でもあっただけに、夜遅くまでの会合にはついぶん苦勞があったことと思います。

また、将来に残るものということで、記念植樹も合わせて計画されました。そして、植樹は三月二十五日の日曜日に実施されました。あいにくこの日は風が強く、長く雨もなかったため寒気とホコリは身にしみたことでしょう。それでも、約三五名の男女の出席があり峰寺山への登山沿道に桜苗一五〇本、高友

愛児と愛樹

公民館長 桜井 太郎

努力をしており、陛下のご臨席を得て植樹祭が開催され、これは誠に喜ばしい限りです。

このように、花木を愛しこれらの事業を盛んにすることは、もちろん大事なことです。我国は昔から家屋、食物、衣服等植物にたよっている点が非常に多い国民生活形態です。

しかしながら、われわれ国民は公徳心が不足しているとも批判されています。なるほど、集会所でのゴミの散れ具合、集会のあとの用具の乱れや上ばきの乱雑なこと、公園や道路わきの

草木へのいたすら、中には、禁止されているのにいろいろな草木を持ち帰る者もあるくらいです。

われわれには草木を愛する心、清潔な美しい環境を求める心は本能としても持っていると思います。だからこそ自分のことには高価な盆栽も買いたい求めし、住居の改築も自分の土地には植林もよくやっています。その美しい気持を公共の場所にも、ぜひ及ぼす様にしたいものです。

八郷町は国定公園の区域に

郎



も含まれ、自然休養村の指定も受け観光事業には、さらにいっそうの努力を必要とする時でもあるわけで、積極的にこれらの事業を進めると共に愛樹を愛児の心でよりよい自然環境の完成に協力されることをお願いしたいものです。恵まれたこの地域に住民の自然を愛する美しい心を、さらに発揮することによって、訪れる人達にもいっそう楽しい印象を与えることができれば、八郷町の発展にもつながることでしょう。

3月15日に

農業委員総決起大会

県土と農業をまもる農業委員総決起大会が、三月十五日、水戸市の農協会館において農業委員五〇〇名が出席して開かれました。

大会は県土に対する資本の不当な取得の防止、場合によっては告発も辞さない長期的な運動の実施を打ち出して氣勢をあげました。県土を守る運動は運動本部をおき積極的な運動を展開

しています。

町でも、やはり一部業者による土地の買い占めが行なわれています。

いっぽうでは土地改良による基盤整備で、農業経営の発展をはかる諸施策を進めています。土地が失われることによって、支障をきたしているのが現状です。

農業所得が他産業と均衡のとれた所得が得られるよう、緑に恵まれた土地をみんなでたいせつにしたいものです。

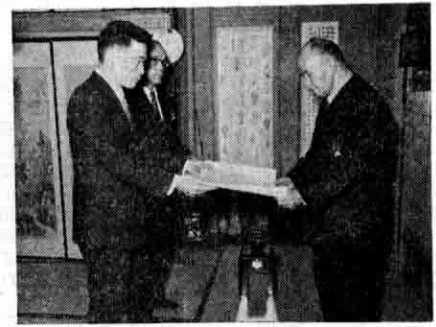
ガン早期発見10カ条

- (1) 原因がわからないのに顔色が悪くなったり、やせたり貧血したりすることはないか (すべてのガン)
- (2) 声がかすれて、なかなかおらないことはないか (喉頭ガン)
- (3) 咳がつづき痰に血がまじることはないか (肺ガン)
- (4) 物をのみこむ時、つかえるような気がしないか (食道ガン)
- (5) 長い間胃のぐあいが悪く、また食欲が衰えたり、食べ物の好みが変わるようなことはないか (胃ガン)
- (6) 原因がわからないのに黒い便がでたり、便に血がまじったりしないか (胃腸ガン)
- (7) 便が細くなったり、出が悪いことはないか (直腸ガン)
- (8) 「いば」や「あざ」が急に大きくなったり、長い間おらないことはないか (皮膚ガン)
- (9) 外らふれる「しこり」はないか、とくに乳房のなかに消えない「しこり」はないか (乳ガン)
- (10) 出血したり、おりものがふえたりすることはないか (子宮ガン)

2度目の紺綬褒章

柿岡の菊地さん

町社会福祉の功労者



褒章を受ける菊地さん — 菊地さん宅 —

町に一千万円という多額の私財を寄付された、大字柿岡の菊地四郎(四郎)さんが紺綬褒章を受けました。菊地さんは、さる四十四年にも同じく紺綬褒章を受けており、今回の褒章は二度目にあたります。

紺綬褒章は、公益のために多額の私財を寄付した功労者に与えられるもので、さる三月二十三日、助役から飾版と木杯一組が伝達されました。

今度は中学卒業生

7名に記念品を贈る

「菊地四郎顕彰、社会福祉基金」

菊地四郎さん夫妻の一千万円の寄付で設立された「菊地四郎顕彰、社会福祉基金」で、明るく住みよい社会建設に功績のあった人たちの顕彰や寝たきりであるお年寄りに慰問金の支給を

菊地さん夫妻は、さる四十三年に二百万円を、また、昨年は一千万円を町に寄付された町の福祉の功労者です。これらのお金は「菊地四郎顕彰、社会福祉基金」として、明るく住みよい社会建設に功績のあった人たちの顕彰金として、また、寝たきりであるお年寄りの慰問金として、福祉対策にも利用されています。

行なってきたが、今度はこの基金から、町の中学卒業生7名に記念品を贈りました。

校風の高揚につとめた生徒を各地区から一名を選び、卒業式に表彰することになっていたので、第一回目として該当者がなかった瓦会を除く七地区から

贈りました。

みんなの健康

春の食生活

◎季節のかわりめを元気に
一分でも長く寝ていたい春の朝は、つい朝食もおろそかになりがちです。しかし、消耗の激しくなるこの季節こそ朝食をたいせつにしたいもの

それぞれ一名づつの計七名に二千円相当の記念品(辞書)をそえて表彰状を贈りました。

今回表彰されたのは、いずれも他生徒の模範となる、りっぱな学校生活を送ってきた人ばかりです。

町では、来年もりっぱな生徒たちを各地区から一名づつを選び、卒業式に表彰することになっています。

今回表彰された生徒は次のとおりです。

▽江畑 厚子

大字片野六三一

▽飯田 泰久

大字小幡一、二三〇の一

▽富田 和子

大字上曾一、九五三

です。

春は活動的になるために、新陳代謝がさかんになり、ビタミンB₆の消費が多く、これが不足すると春のけだるさ、ねむたさのもとになります。

◎一日の活動にそなえて朝食をたいせつに

最近、朝食ぬきの二食主義者がふえています。しかし、スタミナの要求される現代を乗りきることは、むずかしく、いろいろな病気にかりやすくなります。睡眠から目ざめたばかりの体にとって、全身の機能がまだ活発に働いていない朝は、量よ

り質に重点をおくべきです。

急ぐとき、食欲のないときには牛乳と果物か、チーズにトマトジュース、卵入りの牛乳を。

ただし、この場合は昼食をきちんととって栄養のバランスをとりましょう。

ご飯と味噌汁は、タンパク質とビタミンCが不足しやすいので、卵とおろし大根などをかならず献立に入れたいものです。食欲のないのは、体のどこかに変調をきたしている証拠ですから、早めに医者にかかることです。

▽大槻 茂

大字太田一、一四九

▽山田 典明

大字山崎五四四

▽佐藤 きみ江

大字下林二、三九〇

▽武川 恵美子

大字青田一九三

農事実行組合

新年度役員決まる

昨年発足した農事実行組合協会の総会が、四月十日八郷公民館大会議室で開かれ、昭和四十八年度のあたらしい役員などが決まりました。

- ▽会長 関 俊男(細谷)
- ▽副会長 富田新一(下林)
- ▽委員長 大槻宗兵衛(東成井)
- ▽委員 塚田幸助(柿岡) ○内木千秋(〃) 綿引広平(片野) 上田源吉(小幡) 桜井常雄(上青柳) ○岡野茂雄(吉生) 杉田政雄(上曾) 岡本昇(大増) ○友部正一(大塚) 藤岡角一(太田) 広瀬元春(宇治会) 奥村忠(瓦谷) ○鶴井歳雄(東成井) 飯村藤三(山崎) 宇田誠治(嘉良寿理) ○鈴木正喜(片岡) 以後崎芳男(柴内) 菱沼一郎(月岡) ○監事 ○池田賢男(瓦谷) 土佐藤吉(吉生) ○関統郷(半田)

県中堅青年海外派遣に参加して ⑤

あと何日かで日本へ帰る日が近づいたので、少しでも時間のがびる事を機内で考えました。

機は雲間をぬけ、やがてパリの上空へさしかかり、美しく輝くパリの燈火は、はなやかで、さすがパリだと感心しないではいられませんでした。

翌日、ルーブル美術館、エッフェル塔凱旋門、コンコルト広場、シャンゼリゼ通りなどを視察し、その美しい環境にひたる事ができました。

た。芝、街路樹、公園がたいへん美しく、小雨にけむるパリのたのしい一日でした。

シャンゼリゼ通りでお茶をたのしむ人たち、小雨のため、街をあるく人たちは、何となく美しくたのしそうに見えました。

ルーブル美術館は、記念に残る思い出のページのように、有名な人の絵をこの目で見、信じられないほどでした。

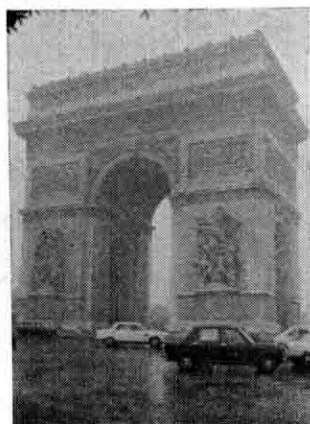
自由時間をもらいショッピング

パリの一日

大字下青柳 高 橋 久

グシたわけですが、美しく目に映るものは高価すぎ、すべて高級品ばかり、日本人観光客相手の商法の一手段かと思われましたが、このパリの街には日本人女性が多く、店員として雇われているため商品をねぎめるのはもちろん日本語で平気です。

一行は、明日パリを立つ予定だったので、買物を済ませたり



帰国の準備で大わらわ。

いよいよパリ発日航四〇四便ジャンボジェット。アムステルダム、アンカレラジ経由東京行でパリの地を離れました。

一四日間の他国での生活で、数多くの思い出とともに、多くを学ぶことができました。日本を外からながめることで、視野が広がったこともその一つです。

この研修に参加させていただき、心から感謝するとともに、今後何らかのかたちでお役に立てば幸いと思ひます。(写真 凱旋門)

(おわり)

修復なった西光院本堂



県文化財に恥じない姿に！

3月31日

西光院本堂の竣工式

技術的にも地形的にもかなり困難な工事になった峰寺山西光院本堂(大沢俊起住職)の修復工事が終わり、その竣工式が三月三十一日、盛大に行なわれました。

竣工式には、町長はじめ町議、工事関係者など約一〇〇名が出席し、工事の完成を祝いました。

役)によって行なわれたもので、一、八五〇万円の費用をかけ、りっぱに修復されました。

関西の清水寺とともに関東唯一の「かけ造り」で有名な現在の西光院本堂は、江戸時代後期寛政年間に建てられたものです。今回の修復工事では、老朽化のほけしかった屋根や見晴らし台も修理され、特に屋根は「か

や葺型銅板葺」で葺かれました。また、特長である「かけ造り」も老朽箇所横に横キされ、念入りに補修されました。

西光院は、本尊が地下から盛り上がった自然石でできていることも、大きな特長の一つですが、見晴らし台からの風光もたいへん美しく、訪れる観光客も少なくありません。

町では、観光開発事業を積極的にすすめており、そういう意味でも西光院本堂の完成は、今後の観光八郷の名所になるものと期待されます。

職員の異動

四月一日付で職員の異動を次のとおり実施しました。

異動

- ▽奥庭孝子(小椋保育所) ↓ 柿岡保育所▽高橋道子(林保育所) ↓ 小幡保育所▽石上康子(小幡保育所) ↓ 芦穂保育所▽西村のり子(柿岡保育所) ↓ 瓦会保育所▽友部文子(林保育所) ↓ 園部保育所▽松延茂子(園部保育所) ↓ 小椋保育所▽高橋ふみ子(国保年金課) ↓ 教育委員会▽広瀬孝行(教育委員会) ↓ 農地課▽雨貝和男(土地改良課) ↓ 国保年金課▽岡野孝男(企画開発課) ↓ 土地改良課▽小松崎幸子(企画開発課) ↓ 出納室▽上田繁子(出納室) ↓ 企画開発課▽市村明(土地改良課) ↓ 税務課▽村田寛(税務課) ↓ 園部出張所▽久保田貴美(園部出張所) ↓ 住民課▽小野瀬和子(住民課) ↓ 企画開発課▽坂本利夫(企画開発課) ↓ 土地改良課
- 昇格
▽菱沼成至(秘書係長)
- 新採
▽磯山さき(林保育所) ↓ 稲田昌代(ク)▽関口美代子(園部保育所) ↓ 舟橋伸(建設課)▽菊地庄兵衛(総務課)

農村人材銀行

相談員がかわりました

この四月から農村人材銀行の相談員が変わりました。これまで大字中戸の大岡正一氏と大字吉生の岡野明氏がみなさんのご相談に応じて

きましたが、四月からあたらしい相談員に次の二人が就任しました。

●岩田雅康氏
大字柿岡二、三〇二の五

●小松崎四郎氏
大字柿岡四、四一六の二

農村人材銀行では、離農転職希望者があたらしい職種に就職できるように、週四回開行し職業相談や職業紹介を行なっています。どうぞお気軽にご相談ください。

時間の励行

会議、話し合いは必ず予定時間内で終了するようにとめよう

4月の納税

国民健康保険税 第1期

家畜共済掛金

農村人材銀行開設の日時、場所は次のとおりです。

日時 毎週月・火・木・金の
週四回
午前九時～正午まで

場 所 八郷公民館

有線放送

夏期プログラムに

有線放送プログラムが四月一日から変更になりました。

放送開始時間は、これまでどおり午前五時、終了時間が三〇分の午後九時までに変わったことが主な変更点です。

なお、毎週水曜日午後三時から「三時のミュージック」第二、第四日曜日の「町内だより」

の時間には「保健婦さん」に聞く健康「管理」をこれまでどおり放送します

48年度夏期有線放送電話プログラム

八 郷 有 放

自4月1日～至6月30日

時刻	放送内容	備考
5:00～5:40	ラジオ放送 (NHK第1) 町内だより	
5:40～6:00	役場、農協関係ほか	
6:00～6:20	ラジオ放送 (NHK第1)	
6:20～7:15	通話	
7:15～7:25	ラジオ放送 (茨城放送)	日曜をのぞく
7:25～9:00	通話	
9:00～9:05	ラジオ放送 (NHK第1)	ニュース・時の話題
9:05～10:30	通話	
10:30～10:45	休憩	
10:45～11:30	通話	
11:30～12:15	ラジオ放送 (NHK第1)	
12:15～13:15	通話	
13:15～13:25	ラジオ放送 (NHK第2)	
13:25～13:40	通話	
13:40～13:55	ラジオ放送 (茨城放送)	ラジオ農業講座
13:55～15:00	通話	
15:00～15:15	休憩	
15:15～17:00	通話	3時のミュージック (水曜日)
17:00～17:10	ラジオ放送 (NHK第1)	ニュース
17:10～18:55	通話	
18:55～19:15	ラジオ放送 (NHK第1)	天気予報・ニュース
19:15～19:25	広告放送	
19:25～20:45	通話	
20:45～2:00	町内だより 役場、農協関係ほか	保健婦さんに聞く健康管理(第2.4の日曜日)

衣類の手入れ



毛織物にシミやヨゴレをつけたまましまくとカビや虫食いはてきめんですから、二、三度手を通しただけといったものでも手入れをじゅうぶんしてからしまってください。

家庭での手入れは、二、三日お天気をつづいた日を見はからって二、三時間たつぷり太陽にあて、良質のブラシをていねいにかけてください。洋服ブラシは最近ナイロンのものがすいぶんできていますが、やはり腰のあるブタ毛のものがいちばん適当です。ナイロンだと、生地によってはケバ立つことがあります。

エリやソデ口その他のよごれをキハツ油でふくときは、かならず下に当て布をすること。「キハツ油でふく」といいますが、つまりよごれを下の布地にたいて移しとるわけですから、とくに薄地の生地の場合などは、当て布を忘れないように。なお、キハツ油は綿よりも真綿に浸して使うほうがきれいにとれます。